

心理学研究投稿・編集規則

第1章 総則

1. 公益社団法人日本心理学会定款第4条(2)に基づき、公益社団法人日本心理学会(以下、本学会という)の機関誌「心理学研究(以下、本誌という)」への投稿、および本誌の編集は、本規則の定めるところによる。
2. 本誌は、本学会が発行するオープンアクセスジャーナルである。オンラインで隔月刊行(年6回)され、掲載された論文は公開と同時に誰もが無料で閲覧できる。
3. 本誌の編集は、機関誌等編集委員会心理学研究編集小委員会(以下、編集委員会という)の責任のもとに行う。

第2章 目的

4. 本誌は、心理学のさまざまな領域に関わる科学研究を和文で公表することを目的とする学術雑誌である。心理学のあらゆる領域から、実証研究に基づく論文ならびにレビュー論文を募集し、学術的または社会的な重要性と有用性を備えた論文の掲載を通じて、信頼できる知見を広く共有することを目指す。

第3章 資格

5. 本学会の会員でなくとも、本誌へ投稿することができる。

第4章 対象論文

6. 本誌では、未刊行の和文論文を受け付ける。学術刊行物(学術誌ならびに学術書)あるいは一般刊行物(一般に流通しているすべての雑誌や著書)として既刊、またはそれらに投稿中の論文は、本誌に投稿できない。
7. 本誌では、本学会が定める以下の規範、規則、方針等に従って作成された論文を受け付ける。
 - (1) 心理学研究投稿・編集規則(本規則)
 - (2) 公益社団法人日本心理学会会員倫理綱領及び行動規範
 - (3) 公益社団法人日本心理学会倫理規程
 - (4) 日本心理学会機関誌への投稿論文に求める倫理的配慮についての判断方針
 - (5) 執筆・投稿の手びき
 - (6) プレプリントポリシー
 - (7) 「二重投稿」に対する公益社団法人日本心理学会の方針
 - (8) 利益相反(COI)に関する規則

第5章 投稿

8. 著者は、以下に定義された論文種類のいずれかを選択して投稿する。
 - (1) 原著論文(Original Article): 原則として、問題提起と実験、調査、事例などに基づく研究成果、理論的考察と明確な結論をそなえた研究。
 - (2) 原著論文[方法・開発](Methodological Advancement): 新たな実験装置や解析プログラムの開発、新たな心理測定尺度の作成やデータベースの構築など、研究の遂行に有用な新たな方法、技術およびデータに関する報告。
 - (3) 研究報告(Research Report): すでに公刊された研究成果に対する追加、吟味、新事実の発見、興味ある観察、少数の事例についての報告、速報性を重視した報告、萌芽的発

想に立つ報告。

- (4) 展望論文 (Review Article) : 心理学の最近の重要テーマについて, 研究状況, 主要成果, 問題点等を解説し, 研究の意義と今後の課題を論じる。
9. 投稿は, 所定の電子投稿システムを通じて行う。それ以外の方法での投稿は受け付けない。
10. 初回投稿時に, 事務局が刷り上がり時のページ数を見積もる。規定のページ数制限は, 以下を適用し, それぞれ1ページの超過を認める。ただし, 以下のページ数の制限は, 改稿時には適用しない。
- (1) 原著論文: 10 ページ
 - (2) 原著論文 [方法・開発]: 10 ページ
 - (3) 研究報告: 6 ページ
 - (4) 展望論文: 20 ページ

第6章 費用

11. 本誌への投稿料は無料とする。
12. 論文掲載に関し特に費用を要するものは, 著者の負担とする。論文掲載後に以下を請求する(金額は全て税込み, 2026年4月1日現在)。
- (1) 編集手数料(出版負担金): 全論文に対して請求される(11,000円)。
 - (2) 超過ページ料金: 該当論文のみ請求される。掲載時に規定のページ数制限を超過した際に, 超過1ページごとに請求する(1ページあたり22,000円)。
 - (3) 非会員掲載料: 該当論文のみ請求される。第1著者が, 採択通知時から該当論文掲載誌発行までの期間に非会員の場合に, 請求される(1ページあたり22,000円)。規定のページ数制限を超過した際は, 超過ページ料金もあわせて請求される。
 - (4) 論文公開後の著者都合による修正料: 該当論文のみ請求される。編集手数料(11,000円)に加えて, 修正が含まれる1ページごとに請求する(1ページあたり33,000円)。
13. 抜刷は, 希望する著者のみ所定の方法で注文する。なお, 費用は著者負担とする。

第7章 査読

14. 投稿された論文は, 「心理学研究査読規則」に則り査読し, 編集委員会が採否を決定する。

第8章 著作権およびオープンアクセス

15. 本誌で公開された論文の著作権は, 採択後の所定の手続きを経て, 本学会に帰属する。
16. 本誌は, オープンアクセスジャーナルとして, 2026年4月1日以降に初めて公開された論文(早期公開を含む)にクリエイティブ・コモンズ・ライセンス(以下, CCライセンスという)を適用する。これらの論文は, 付与されたCCライセンスの条件に基づいて, 本会や著者の承諾を得ることなく, 無償で使用または再利用が可能である。
17. 公開に際し, 著者は, 著作権同意書を介して, 自身の論文の著作権を本学会に譲渡する必要がある。2026年4月1日以降に初めて公開された論文(早期公開も含む)の著者は, 著作権を譲渡する際に, 以下のCCライセンスのいずれかを選択して申し出る。本学会は, 著者の申し出たライセンスに基づいて論文を公開する。
- (1) CC BY-NC 4.0 (Attribution-NonCommercial 4.0 International): 適切なクレジットを表示し, かつ非営利目的に限り, 論文の改変, 共有, 翻案等の利用を許可するライセンスである。
 - (2) CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International): 適切なクレジットを表示し, かつ非営利目的に限り, また論文を改変しない限りにおいて, 論文の共有等の利用を許可するライセンスである。
18. 2026年3月31日以前に公開された論文の再利用には, 本学会の承認が必要であり, その手続

きの詳細については、本学会事務局まで問い合わせることとする。

19. 助成機関が特定の CC ライセンスでの論文公開を義務づけている場合、助成を受けた論文の著者は、投稿前に、助成機関の条件が本規則と合致するかを自らの責任において確認する必要がある。

第 9 章 データおよび資料

20. 著者は、論文に付随するデータや資料を以下の情報基盤を利用して公開することができる。公開に際しては、論文にアクセスできるリンクを付与するものとする。
 - (1) J-STAGE の電子付録機能
 - (2) コミュニティに認知される公的データベースやリポジトリ
21. 本誌では、著者以外の個人あるいは団体等が、著者に対してデータの共有を求めた際に、その要求に応じることを奨励する。

第 10 章 セルフアーカイブ

22. 著者は、セルフアーカイブ（グリーンオープンアクセス）として、本誌で公開される自身の論文の著者最終稿を機関リポジトリ等の公的な情報基盤を利用して公開することができる。本誌は、論文の公開と同時に機関リポジトリ等から著者最終稿を公開することを著者に対して許容する。この際、本学会への届け出は不要とする。

第 11 章 出版と校正

23. 採択後は、事務局の指示に従い最終稿を準備し、提出する。
24. 著者による校正は、初校のみの 1 回を原則とする。
25. 採択された論文は、原則として投稿順に掲載される。ただし、同一の第 1 著者の論文が同一巻に重複しないよう配慮することがある。

第 12 章 雑則

26. 本規則の改正は、常務理事会の承認を得るものとする。

附則

1. 本規則は、心理学研究執筆・投稿規則および心理学研究編集規則を統合し、新たに心理学研究投稿・編集規則として制定するものである。
2. 心理学研究執筆・投稿規則および心理学研究編集規則は、2026 年 3 月 31 日まで有効とする。
3. 本規則は、2026 年 4 月 1 日より施行する。